

日本自然保育学会 実践・研究推進委員会
「保育環境の充実のあり方に関するワーキンググループ」(保育環境 WG)
第2期(2024年度)参加会員 募集要項

日本自然保育学会 実践・研究推進委員会

近年、変化が激しく先行きが見えない社会を生きる力を育むため、子どもの主体性を育む「自然保育」への関心が高まっており、多様な保育実践が広がるとともに、行政や保育者養成校、各種団体による支援や研究も拡がりつつあります。さらに、森林・林業分野の行政等による「自然保育」のためのフィールド確保・整備等を支援する動きも拡がりつつあります。

しかしながら、園庭・裏山・地域の森林等の確保・整備等を通じた「自然保育」の保育環境の充実のあり方は、その学際性から理論・方法論は十分に確立されておらず、また支援体制・支援策も限定的である場合が少なくないため、園等が新たな取組を着手する際にハードルがある場合が少なくありません。

こうしたことから、先駆的に園庭・裏山・地域の森林等の確保・整備等を取り組んできた園関係者と、保育・幼児教育分野とフィールド系の林学・造園分野等の学識者・行政関係者等が集い、実践知と学際的な理論を組み合わせながら、地域の森林・自然環境等を活用した保育環境の質の充実のあり方や、その支援体制・支援策のあり方を協議する場として2023年度から「保育環境の充実のあり方に関するワーキンググループ」(以下、「保育環境 WG」という。)を設置しています。

そこで、今年度の「保育環境 WG」で保育環境の充実のあり方の検討や研究等をご一緒頂ける会員を広く募集します。多くの会員の皆さまのご参画をお待ちしております。

記

1. 対象 日本自然保育学会 会員(入会予定の方を含む)
2. 内容 第2年度(2024年度)は、参加会員が分担して、以下の調査を実施して、第3年度(2025年度)に総括・とりまとめを行う予定です。
 - (1) 先行研究等の収集・整理・分析
 - ・(2)(3)の実態調査の調査項目の検討の参考とするため、「自然保育」に関わる先行研究や実践事例報告等のうち、特に「環境構成(森林等の自然の要素)」と「子どもへの効果」の因果関係等について記載・分析している先行研究を収集・分析・整理する。
 - ・ドイツや韓国等の森林セクター等の関わりが深い諸外国の制度等についても収集・分析・整理する。
 - (2) 自治体等と連携した実態調査(量的調査)
 - ・「自然保育」認証・認定制度を有する、或いは「自然保育」に関心のある自治体等と連携して、園等における自然保育等の実態調査を行う。(候補:長野県等)
 - ・特に、自由な活動が保証されている森林等の自然フィールドの有無や、森林等の自然での自由で主体的な遊びの有無などで比較しながら、どのように環境や保育内容の違いで効果が異なるかを調査・分析・整理する。
 - ・また、森林等の自然をフィールドとして活用している園においては、フィールドの①確保段階、②整備段階、③維持管理段階のそれぞれの段階で、どのような支

援策や専門的な知見を有するステークホルダーの関与があり、どのような課題があるかを明らかにするための実態調査も行う。

(3) 自然保育先進園等の実態調査（質的調査）

- ・全国的な見地から特色がある園等や、(2)の量的調査において特徴のある園等の実態調査を行う。
- ・調査内容は、(2)で調査した内容について、その因果関係が明らかになるように、森林等の自然フィールドの現状や保育内容、コーディネーターによる取組内容等を調査し、分析・整理を行う。

(4) 成果報告会（中間報告）の開催

- ・本調査の成果を幅広く共有するため、(1)～(3)の分析結果や、自然保育先進園等の事例を広く共有する成果報告会（中間報告）を開催する。

(5) その他

- ・「日本自然保育学会第9回研究大会」においては、実行委員会とも連携して、以下の場を設定し、保育環境の充実に関わる知見を共有しつつ、機運醸成を図る。

行事名	内容
①企画シンポジウム①「農林業や里山の恵みとつながる東北の自然保育・森のようちえんの知恵」（仮）	東北各県で保育環境を充実している園事例等の登壇を調整して、事例収集と機運醸成を図る
②ポスターセッション「幼児期の自然保育・森林ESD実践事例」	東北各県で保育環境を充実している園事例等の発表等を呼びかけ、事例収集と機運醸成を図る
③エクスカージョン①「自然保育実践園視察～まきば保育園」	開催地に隣接する保育園の視察を調整して、保育環境の充実に向けた知見の共有と機運醸成を図る
④口頭発表・ポスター発表	ワーキンググループ構成員による発表を促進し、保育環境の充実に向けた知見の共有と機運醸成を図る

3. 行程 以下のスケジュールで実施します。

2024年7月中旬	・ワーキンググループメンバーの公募
2024年7月31日	・ワーキンググループメンバーの公募締切
2024年8月中下旬	・第1回ワーキンググループ ① 参加会員 自己紹介 ② 今年度の「保育環境WG」の概要紹介 ③ 第9回学会大会における取組について ④ 意見交換・担当を希望する調査の調整 ⑤ 今後のスケジュール等の確認
2024年8月下旬～9月上旬	・調査グループ別に会合を行い、調査内容を検討
2024年8月25日(日) ～8月28日(水)	・調査票検討を含めた合同調査 ※詳細スケジュールは、「別添」参照 (量的調査) 長野県庁

	(質的調査) 森のこども園てくてく・上田女子短期大学附属幼稚園・野遊び保育ささはら・高遠第2第3保育園・野外保育森のいえぼっち・花の森こども園等
2024年9月中下旬	・第2回ワーキンググループ (各事業の実施方針の方向性決定)
2024年9月～2025年2月	・調査グループ別に調査活動を実施
2024年11月8～10日	・「日本自然保育学会第9回研究大会」で各種調査結果(中間報告)の発表等 ※必要に応じて、メンバー間の進捗共有・意見交換
2024年12月	・第3回ワーキンググループ (各担当グループの進捗共有・意見交換)
2025年2月	・第4回ワーキンググループ・成果報告会(中間報告) (各調査グループの成果の共有・協議・まとめ)
2025年3月	・2024年度の成果のとりまとめ

3. 申込 2024年7月31日(水)まで、以下のフォームによりご登録下さい。

《2024年度「保育環境WG」登録フォーム》

<https://forms.gle/vACYnm2SmKyUPXi6A>



※上記フォームへの登録後の確認画面に、(1)第1回WGの開催日程の調整に向けて、以下のスケジュール調整フォームが表示されますので、こちらもご回答ください。

https://tonton.amaneku.com/list.php?id=20240715142447_854YhG

4. 運営 2024年度の「保育環境WG」は、以下メンバーの協力を得て実施します。

〈世話人〉 ※日本自然保育学会 理事/実践・研究推進委員会 委員。企画チームを兼ねる

杉山 浩之 (広島文教大学、ひろしま自然保育推進協議会 会長)

木俣 知大 ((一社)東京学芸大 Explayground 推進機構)

〈企画チーム〉 ※2023年度のWGメンバーの中で、今年度の企画・運営をご協力を頂く会員

菊池 稔 (名寄市立大学)、下村 一彦 (東北文教大学)、

藤井 徳子 (金沢学院大学)、村上 光 (名古屋大学大学院)

5. 経費等

- ・合同調査の集合場所から調査先や、調査先間の移動経費(高速代・燃料代・車代等)と、調査先の謝金は、学会側で負担します。
- ・研究費がない学会員には、企画チームで確保した助成金で、予算の範囲内で質的調査の旅費の一部の支援を検討しています。(応相談。但し、支援できても少額となります)

6. 問合せ先 日本自然保育学会 実践・研究推進委員会 2024年「保育環境WG」世話人
木俣 知大 (東京学芸大 Explayground 推進機構/日本自然保育学会 理事)

E-mail : tomohiro_kimata@yahoo.co.jp

以上

日本自然保育学会 実践・研究推進委員会
第2期（2024年度）「保育環境の充実のあり方に関するワーキンググループ」（保育環境WG）
合同調査 実施概要（案）

【日 程】2024年8月25日(日)～8月28日(水) 《部分参加も可能》

【行 程】以下で実施予定です。（一部、現地との調整等の関係で、変更の可能性があります。）

日程	時間 (予定)	調査先 (住所)	公共交通利用者の 集合時間・場所 (予定)	調査先関係者との 交流会	企画チームの 宿泊場所
8月25日 (日)	13:30 ～17:00頃	① 森のこども園てくてく (新潟県上越市)	12:00頃 北陸新幹線 「上越妙高」駅	①園長等と宿泊場所 周辺で実施予定	「スーパーホテル上越 妙高駅西口店」
8月26日 (月)	9:30 ～11:30頃	② 長野県庁 こども・家庭課 等 (長野県長野市)	9:00頃 北陸新幹線 「長野」駅		
	13:30 ～17:00頃	③ 上田女子短期大学附属幼稚園 (長野県上田市)	13:00頃 北陸新幹線 「上田」駅	③園長等と宿泊場所 周辺で実施予定	「相鉄フレッサイン長 野上田駅前」
8月27日 (火)	9:00 ～11:30頃	④ 野遊び保育ささはら (長野県茅野市)	7:30頃 北陸新幹線 「上田」駅		
	13:00 ～15:30頃	⑤ 高遠第2第3保育園 (長野県伊那市)	12:15頃 中央本線 「茅野」駅		
	16:30 ～18:00頃	⑥ 野外保育森のいえぼっち (長野県富士見町)	16:15頃 中央本線 「富士見」駅	⑥園長等と宿泊場所 周辺で実施予定	(調整中：一棟貸して 調整予定)
8月28日 (水)	8:30 ～10:00頃		8:15頃 中央本線 「富士見」駅		
	13:00 ～16:30頃	⑦ 花の森こども園 (埼玉県秩父市)	12:30頃 秩父鉄道 「三峰口」駅		

【経 費】各集合場所までは、各自でお越し下さい。また、宿泊の経費は、各自でご負担ください。

なお、最寄り駅から調査先、調査地間の移動は、相乗りで移動予定です。（高速代・燃料代・車代等や、調査先の謝金等は学会側で負担します）

【その他】不明点・ご要望等ございましたら、「保育環境WG」世話人の以下までお問い合わせください。

木俣 知大（東京学芸大 Explayground 推進機構） E-mail : tomohiro_kimata@yahoo.co.jp